

ミキサーの使い方 基礎編

電源の順序

出力の配線を接続完了したら。

- ・ミキサー→スピーカー（パワーアンプ）の方向で順に電源を入れていきます。
- ・切るときはスピーカー方向からミキサー方向に順に切っていきます。
特にホールの機器などと接続している場合は先方と確認しながら電源の入り切りを行うこと。

ミキサー

●全体の音量

右下 MASTER 基本は 12 時で固定使用、状況次第で若干の調整。

●各チャンネル

上部 TRIM で入力レベルを決めます。

（ハウリングに気をつけながら赤ランプが点くギリギリまであげてみる。音が歪んだり、膨らんだりしている場合は TRIM を適切な音色になるまで戻す。場合によってはマイク位置を調整する）

下部 VOL

入力が決まったらこのつまみで必要な音量を調節します。

MUTE

ケーブルを抜き差しするとき、演奏が終わったとき各チャンネルの MUTE を押します。

ランプ点灯でミュートされます。

使わないチャンネルはミュートしておくが良いです。

●PHONES

ヘッドホンのボリュームです。

●PHANTOM（ファンタム／ファントム）*重要

右上の PHANTOM ボタンを押すと各チャンネルに 48 ボルトの電流が流れます。

電気が流れているときは赤いランプが点きます。

押さないこと。

押した場合は慌てず、そのままにして Master ボリュームを下げられる状況まで待ち
ボリュームを完全に下げたからボタンを押して切る。（切ったらボリュームは戻す）

ファンタムが入った状態ではケーブルの抜き差しは絶対しないこと。

電源を切っても内部に溜まっている電流が抜けるのに時間がかかりますので

40 秒ほど待ってからケーブルの抜き差しをする。

●各チャンネルの調整

調整チャンネルの CH EDIT を押します。

液晶右のつまみを動かして設定したい項目を呼び出します。

液晶下の 3 つのつまみ（まわす・押す）で項目の詳細を設定します。

音の調整

音の調整をするときは調整したいチャンネルの「CH EDIT」を押すと呼び出されたチャンネルの画面に切り替わります。

ミキサー中央部の「TONE MATCH」を調整したい項目にあわせませす。

●イコライザー

TONE MATCH ツマミをまわして「z EQ」にあわせませす。

液晶の LOW MID HIGH をそれぞれの項目下のつまみで調整します。

つまみを押すと BYPASS されます。

db は 1db で 1.1 倍になり 6db で 2 倍になります。

1db→1.1 倍

2db→1.25 倍

3.5db→1.5 倍

6db→2 倍

8db→2.5 倍

10db→3 倍です。目安にしてください。

INST マイクはフラットな特性です。

アコギの低音が多い場合は LOW を -2db~6db の間ですっきりするように調整してみてください。

●リバーブ

TONE MATCH ツマミをまわして「REVERB」にあわせませす。

ホールなのでなくても大丈夫ですが。

ボーカルには~20%位をミックスするのもありかも知れません。

液晶下の中央つまみを押すと MUTE (リバーブ無し) になります。

Bright は数値を大きくしていくとより高音域のみにリバーブがかかっていきます。

その他の項目は以下のようになっています。

- ・ PARA EQ パラメトリック EQ より細かいイコライザーの設定が出来ます。
- ・ COMP/GATE 音圧をあげたいときにコンプレッサーをかけたりします。
- ・ MOD モジュレーション 音に揺らぎ効果を与え厚みを出したりできます。(コーラス)
- ・ DELAY 遅延させた音を出します。様々な用途に使えます。
- ・ REVERB STYLE 全チャンネルの適応させるリバーブの種類を決めます。
- ・ PREFS 各チャンネルがどのような設定になっているかをまとめて確認できます。
- ・ SCENES チャンネルの設定を保存したり呼び起こしたりします。
- ・ PAN/AUX 音源を左右に振ったり (パン) 外部入力 (aux) の設定をします。
- ・ TUNER チューナーです。
- ・ TONE MATCH 本体にあるプリセットをチャンネルに振り分けます